

職員が濃厚接触者に 苦しい介護現場

9/30 五八



訪問介護にあたるヘルパー=長崎市内

新型 コロナ

新型コロナウイルスの第5波によって、介護現場では濃厚接触者に認定される職員が相次ぎ、人手不足がいっそう深刻化した。代わりの職員を探し回らなければいけなかったり、サービス休止に追い込まれたりした事業所も。介護関連の団体は、濃厚接触者も条件付きで勤務できるよう厚生労働省に要望しているが、先行きは見えない。
(石川友裏、畠山敦子)

(石川友憲、畠山敦子)

京都府の訪問介護事業所でサービス提供責任者を務める石井幸枝さん(57)のもとに40代の女性ヘルパーからの電話が入った。この女性ヘルパーがかわいがり、泣き声で話す。新規ヒロナの職業性者が出て迷惑施設者に迷惑がされたため、1日間完全待機しなければならなくなつたらしい。しかし、石井さんはかのヘルパーも弱冠30歳を越す若い女性であり、代わりに人手は難しかった。

その後、利用者側が契約していた別の訪問介護事業所に応援を頼み、なんとか代わりのヘルパーを確保した。

この会社では、従業員の福利厚生として、定期的に職場内検査が実施されています。この事業所では、利用者のなかに陽性者が出ていたことがあります。そこで、この問題について、専門家による講義が行われました。

待機となつた。この2人の担当先は、一人暮らしや家族が仕事をして日中不在といった訪問介護などで生活が成り立たないケースが多かつた。事業所内の人の懸念を調整したり、応援を頼んだりして訪問を継続した。

人が老の者の状況の事業所では、ルルバーが1人でも抜けると運営できなくなる。石井さんは「感染防止のためとねむかり」といふが、臨時休業者が出ると小規模な事業所には厳しい。事業所同士が助け合つて対応したが、「これ以上人手が不足すればそれも難しくなる」と感心する。

でも、サービスを一晩地上げられるを得なくなつた。

でも文政販しても、それでいいことに、ないくらいの人手不足にある状況を知つてほしい。ただ、濃尾撲滅者が対応するがしたい、検査で陰性でも利用者は不安に感づだるや」と語る。

勤務制限
—医療従事者なみに緩和を—

一方、介護が受けても職員が運営・接遇

全國老人福祉施設協議會（老施協）

卷之三

機会の制約を緩和するもう一つの

老施密特詩集

本邦の歴史

そのまゝ次の時間帯の勤務に入り、

あつたといふ。施設間で巡回警員を派

第1回 おとぎの話

ともあり、対策は不十分だという。

触者になつた場合の勤務時間が緩和さ

それで、いざ、那須寺へ向うる坂道で、因が黒切てひらひら、草の葉の羽

月13日、新規コロナのワクチン接種を

施設系団体 厚労省に要望

が可能だと承知した。

介護従事者も人手不足が厳しいし、老施設などは医療従事者と同様の扱いを求めていたが、厚労省の担当者は「今のところ介護従事者については検討していない。医療従事者に関する必要がある」と説明する。介護施設においては、高齢者の感染リスクなどを考慮してごめんなされる。

老施設の田中英美副会長(69)は「家族の感染による邊境接觸者になった職員が出勤すれば新たな感染を持ち込むリスクがあり、対応が難しい部分はある」としつつ、「このままで介護の提供に支障が出る。クラスター(感染者爆発)が発生してしまった施設の場合だけでも、緩和して対応できるようにするなら検討してほしい」と強調している。

が可能だと承知した。

介護従事者も人手不足が厳しいし、老施設などは医療従事者と同様の扱いを求めていたが、厚労省の担当者は「今のところ介護従事者については検討していない。医療従事者に関する必要がある」と説明する。介護施設においては、高齢者の感染リスクなどを考慮してごめんなされる。

老施設の田中英美副会長(69)は「家族の感染による邊境接觸者になった職員が出勤すれば新たな感染を持ち込むリスクがあり、対応が難しい部分はある」としつつ、「このままで介護の提供に支障が出る。クラスター(感染者爆発)が発生してしまった施設の場合だけでも、緩和して対応できるようにするなら検討してほしい」と強調している。